

課題研究要旨

上川北部看護職員確保対策の取り組み 10年間の総括

播本雅津子¹⁾* 大西亜希子¹⁾ 渡邊友香¹⁾ 益塚典子²⁾ 太田泰子³⁾
堀岡恒子⁴⁾ 尾針真智子⁵⁾ 富田瑞恵⁶⁾ 山崎由紀子⁷⁾ 石谷絵里⁸⁾

¹⁾ 名寄市立大学保健福祉学部看護学科 ²⁾ 名寄市立総合病院 ³⁾ 士別市立病院

⁴⁾ 名寄三愛病院 ⁵⁾ 名寄訪問看護ステーション ⁶⁾ 上川北部医師会准看護学院

⁷⁾ 北海道名寄保健所企画総務課企画係 ⁸⁾ 北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課看護政策グループ

1. 研究目的

上川北部地域では名寄保健所が参集する「上川北部地域看護職員確保対策にかかる企画検討会議」が企画した独自の活動を平成18年度より開始し、年を追って活動の幅を増やしながら継続的に取り組みを続け、現在に至っている。平成18年より開始した従事者届の分析に続き、平成20年より発行を開始した「上川北部地域看護職通信」は今年度第10号を迎えた。平成22年度より開始した「看護系進学者のための高校生応援講座」は年1回3月に看護系進学が決まった高校生を対象に実施し、今年度が8回目の開催であった。これらの活動は北海道内で先進的な看護職員確保対策として知られるようになっていく。今回の研究活動は、これまで12年間にわたる取り組みについての総括を行うことを目的とする。

2. 研究内容

今回取り組んだ内容は以下の通りである。

1) 調査活動

企画検討会議のメンバーによる座談会

過去の企画検討会議メンバーへのインタビュー

高校生応援講座OB・OG会でのグループインタビュー

2) 従事者届の分析

2016年分の分析および2004年～2016年の経年的分析

3) 「上川北部看護職員確保対策のあゆみ」の発行

上記1) 2) 3) の結果を含め、これまでの活動をまとめた冊子の編集および発行

冊子は、印刷製本と同時に、名寄保健所のホームページにPDF形式で掲載することにより、他の地域への内容の周知を図ることとする。

3. 研究活動の意義

地域の関係機関による看護職員確保対策は、他の地域には例がない。これまでも北海道内各地より問い合わせが来るなど注目されているため、経年的な経過やその成果を幅広い資料と共に公表できる形にまとめることは、北海道内のみならず全国の看護職員確保対策の1つの方策として寄与できると考える。

また、看護職員だけでなく、市民を含む関係諸機関とも正確なデータのもとで話し合うことができるため、現在の看護職員確保対策が今後の保健医療福祉に従事する専門職の確保対策や、この地域の労働者確保対策など、幅広い内容へと応用されていくよう発展していくことが期待される。